

2026年4月1日

コスモエネルギーホールディングス株式会社
コスモ石油マーケティング株式会社
日本クロージャー株式会社

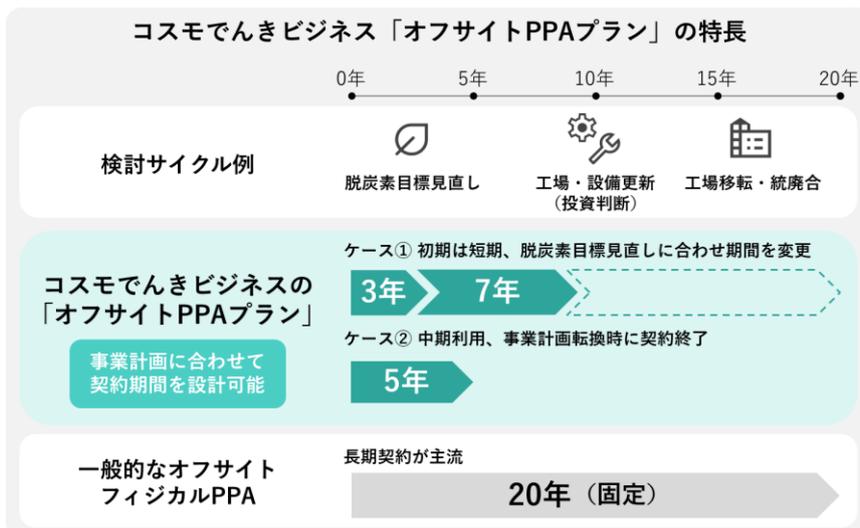
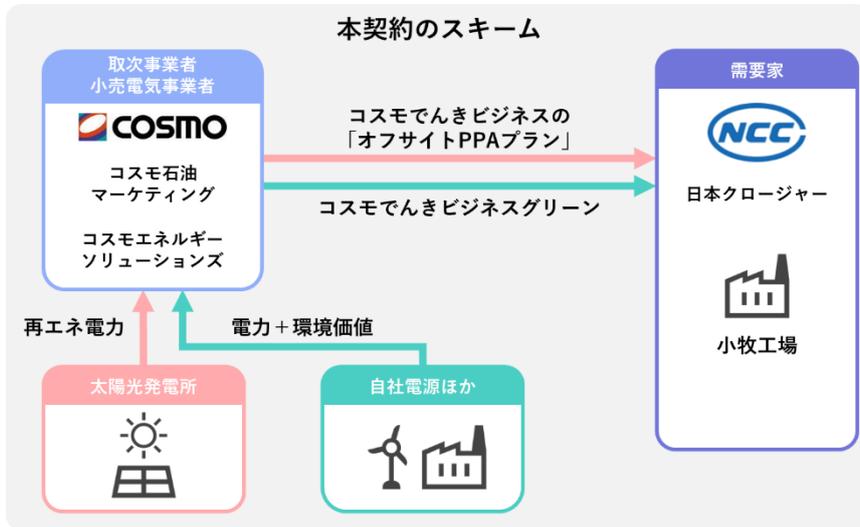
コスモ石油マーケティングと日本クロージャーがオフサイトフィジカル PPA を締結
両社初となる太陽光発電所を活用、小牧工場で年間約 10,260 トンの CO2 削減へ

コスモエネルギーホールディングス株式会社（代表取締役社長：山田 茂）のグループ会社であるコスモ石油マーケティング株式会社（代表取締役社長：高山 直樹、以下「コスモ石油マーケティング」）は、東洋製罐グループホールディングス株式会社（代表取締役社長：中村 琢司）のグループ会社である日本クロージャー株式会社（代表取締役社長：桐 基晃、以下「日本クロージャー」）と、太陽光発電所を活用したオフサイトフィジカル PPA※1 を締結しました。本契約に基づき、日本クロージャーが所有する小牧工場に対し、2026年4月1日より再生可能エネルギー電力（以下「再エネ電力」）の供給を開始します。



本契約では、コスモエネルギーグループのコスモエネルギーソリューションズ※2 が中部電力管内の太陽光発電設備から電力を調達し、日本クロージャー小牧工場の年間使用電力量の約 12%を、追加性※3 を有する再エネ電力として供給します。残る約 88%は、コスモ石油マーケティングの再エネ電力プラン「コスモでんきビジネスグリーン」※4 を活用することにより、合計で年間約 10,260 トン※5 の CO2 排出削減が見込まれます。

コスモでんきビジネスの「オフサイト PPA プラン」※6 は、一般的に長期契約が主流となるオフサイトフィジカル PPA スキームと異なり、設備更新計画や事業運営に合わせて契約



期間を柔軟に設計できる点が特長です。これにより、導入ハードルを抑えながら、再エネ電力導入を推進したいお客さまのニーズに応じた最適な契約形態を実現します。

日本クロージャーは、脱炭素社会の実現に向け、中長期環境目標「Eco Action Plan 2030」のもと、グループ全体の事業活動における温室効果ガス排出量を 2030 年度までに 50%削減 (2019 年度比) し、2050 年までにカーボンニュートラルを実現することを目標としています。今回の再エネ電力の導入は、その目標達成に向けた主要な取り組みの一つです。太陽光発電を活用したオフサイトフィジカル PPA による供給は、日本クロージャーとコスモ石油マーケティングにとって初の取り組みです。

両社は今後も、追加性を重視した再エネ電力の導入拡大を通じて、環境負荷軽減と脱炭素

社会の実現に貢献してまいります。

※1 オフサイトフィジカル PPA は、企業が自社敷地外で発電された再生可能エネルギーを長期にわたり購入する契約形態です。フィジカル PPA は、小売電気事業者を介して電力およびそれに付随する環境価値を一体として需要家に供給するスキームを指します。

※2 コスモエネルギーソリューションズ株式会社は、コスモ石油マーケティングの 100%子会社であり、電力供給を行う小売電気事業者です。コスモ石油マーケティングはコスモエネルギーソリューションズ株式会社と電力販売に関する取次契約を締結しています。

※3：追加性とは、新たな再エネ設備に対する投資を促し、社会全体に対して新しい再エネを生み出す効果があることを言います。

※4 「コスモでんきビジネスグリーン」は、再生可能エネルギー指定の非化石証書等を使用し、環境価値を付加することで、実質的に CO2 排出量を削減できる法人向け電力サービスです。電気の供給にあわせて使用することで、使用電力を実質的に再生可能エネルギー由来とみなすことが可能になります。2020 年の販売開始以降、脱炭素化を目指す法人や自治体のお客様を中心に活用いただいています。

URL：<https://www.cosmo-denki.com/business/low/green/>

※5 令和 6 年度実績の年間使用電力量に基づく。

※6 コスモでんきビジネスの「オフサイト PPA プラン」について

URL：https://www.cosmo-denki.com/business/lp/solution/ppa_off.html

以上